



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 システム・ロケーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 2480 URL <https://www.slc.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）千村 岳彦
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理部門管掌 （氏名）後藤 清文 TEL 03-6452-2864
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	1,297	3.4	478	15.5	520	9.6	328	18.8
2025年3月期第3四半期	1,254	△4.2	413	△9.0	475	△3.4	276	△7.1

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 494百万円（101.9％） 2025年3月期第3四半期 244百万円（△36.0％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	93.15	—
2025年3月期第3四半期	78.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	4,880	4,062	83.2	1,151.47
2025年3月期	4,382	3,701	84.5	1,048.98

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 4,062百万円 2025年3月期 3,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,700	2.0	510	△4.9	545	△7.5	350	5.8	99.20

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	3,570,000株	2025年3月期	3,570,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	41,914株	2025年3月期	41,783株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	3,528,133株	2025年3月期3Q	3,528,217株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や、今後の事業運営における内外の状況の変化により、実績はこれらの業績予想と大きく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～12月31日、以下「当期」）における当社関連市場である自動車産業は、供給サイドは、一部受注制限が掛かっている車種はありましたが、一昨年のような認証不正問題等による生産停止等の影響は無く、比較的安定した基調で推移しました。一方、需要サイドは、物価上昇や車両価格の値上がり等の要因が消費者の購買意欲に影響し、新車乗用車販売台数（登録車＋軽自動車）は前年同期比0.9%減となりました。特に、登録車は7月以降前年割れが継続しており同3.5%減、軽自動車は一昨年の出荷停止の反動増があったことから表面的には同4.4%増となっておりますが、7月以降はほぼ前年横這いの水準で推移しております。年後半へかけて消費意欲の冷え込みが顕著になったことから、さらなる景気への懸念が強まっており、先行きは慎重な見通しとなっています。中古車市場では、店舗の賃貸料や人件費の上昇が経営に悪影響を及ぼす中で、新車販売台数の低迷による中古車の仕入れ難の様相が強まり、仕入れ価格の高騰も相まって中小零細の中古車販売事業者の倒産が増加しております。

このような市場動向の下、前期に引き続き、自動車販売事業者、自動車関連金融事業者などの取引先を中心に、商品・ソリューションの提供に積極的に取り組みました。主力商品であるCA Doctorにつきましては、販売事業者を取り巻く環境・販売スタイルの変化もあり、前年同期の水準を達成できない状況が続いておりますが、これまで取り組んできた商品力の大幅な向上について新規先への訴求を強化した結果、好反応を得ることが出来、次年度へ向けて回復の兆しが現れて来ております。また、リース関連事業者、中古車事業者等からの弊社商品・ソリューションに対するニーズは根強いものがあり売り上げは増加基調で推移しておりますが、AIにより機能向上を果たした商品に活用の目途が立ち、中古車事業対応力強化に貢献する新商品もトライアルまで到達しました。また、新たに取引先のDX対応力向上をサポートする取組を開始、さらに、次年度へ向けましては、これもAIを活用しますが、基幹商品の抜本的な商品力強化により、お客様の拡大するニーズに応え、新規先開拓のキラーコンテンツに成長させるスケールの大きな取組を開始しております。

こうした取組の結果、当期における当社グループの売上高は、1,297,140千円（前年同期比3.4%増）となりました。引き続きリカーリングの性質による売上が大半であり、ストック売上として、フロー型ビジネスと比較し安定的に推移するものです。営業利益は、売上増に加え、売上原価の低減（前年同期比9.5%減）効果もあり、478,166千円（前年同期比15.5%増）となりました。売上原価は、昨年発生した一時的な償却負担の解消及びシステム開発・運用の内製化や事業方針変更により低減したものです。経常利益は520,906千円（前年同期比9.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は328,658千円（前年同期比18.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,568,967千円となり、前連結会計年度末に比べ152,284千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,001,298千円減少したものの、有価証券が1,150,000千円増加したものであります。固定資産は2,311,973千円となり、前連結会計年度末に比べ346,293千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が433,917千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,880,941千円となり、前連結会計年度末に比べ498,577千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は238,778千円となり、前連結会計年度末に比べ75,628千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が55,783千円増加したことによるものであります。固定負債は579,687千円となり、前連結会計年度末に比べ61,499千円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が70,324千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、818,466千円となり、前連結会計年度末に比べ137,127千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,062,474千円となり、前連結会計年度末に比べ361,449千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当が134,072千円発生したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が328,658千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.2%（前連結会計年度末は84.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2025年5月2日付「2025年3月期決算短信」に記載いたしました当期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,166,895	1,165,597
売掛金	189,696	196,037
有価証券	—	1,150,000
棚卸資産	10	18
その他	60,079	57,384
貸倒引当金	—	△70
流動資産合計	2,416,683	2,568,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	207,242	207,242
減価償却累計額	△88,461	△93,230
建物及び構築物（純額）	118,781	114,012
車両運搬具	9,849	9,849
減価償却累計額	△8,446	△8,797
車両運搬具（純額）	1,402	1,052
工具、器具及び備品	183,782	203,471
減価償却累計額	△127,043	△144,330
工具、器具及び備品（純額）	56,739	59,140
土地	167,756	167,756
有形固定資産合計	344,680	341,962
無形固定資産		
のれん	84,412	68,585
顧客関連資産	400,000	362,500
その他	142,089	107,549
無形固定資産合計	626,501	538,634
投資その他の資産		
投資有価証券	821,634	1,255,552
保険積立金	157,500	159,744
その他	24,670	25,386
貸倒引当金	△9,307	△9,307
投資その他の資産合計	994,497	1,431,375
固定資産合計	1,965,679	2,311,973
資産合計	4,382,363	4,880,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,924	16,804
未払法人税等	61,803	117,587
賞与引当金	22,987	46,716
その他	53,434	57,670
流動負債合計	163,150	238,778
固定負債		
役員退職慰労引当金	243,203	231,053
退職給付に係る負債	57,770	61,095
繰延税金負債	217,214	287,538
固定負債合計	518,188	579,687
負債合計	681,338	818,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	282,675	282,675
利益剰余金	3,098,683	3,293,269
自己株式	△18,659	△18,864
株主資本合計	3,462,699	3,657,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234,875	398,488
為替換算調整勘定	3,450	6,905
その他の包括利益累計額合計	238,325	405,394
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,701,024	4,062,474
負債純資産合計	4,382,363	4,880,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,254,683	1,297,140
売上原価	284,933	257,787
売上総利益	969,749	1,039,353
販売費及び一般管理費	555,821	561,186
営業利益	413,928	478,166
営業外収益		
受取利息	1,753	3,952
受取配当金	33,022	30,310
為替差益	—	4,583
持分法による投資利益	466	992
受取保険金	24,822	—
その他	6,258	2,901
営業外収益合計	66,324	42,739
営業外費用		
保険解約損	2,097	—
為替差損	2,216	—
その他	594	—
営業外費用合計	4,908	—
経常利益	475,343	520,906
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	72,938	—
投資有価証券売却損	—	469
減損損失	7,839	—
特別損失合計	80,778	469
税金等調整前四半期純利益	394,564	520,437
法人税、住民税及び事業税	133,862	212,110
法人税等調整額	△13,111	△19,476
法人税等合計	120,751	192,634
四半期純利益	273,813	327,803
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,782	△855
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,596	328,658

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	273,813	327,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,140	163,613
為替換算調整勘定	△2,053	2,592
その他の包括利益合計	△29,193	166,206
四半期包括利益	244,620	494,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,440	496,494
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,820	△2,484

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

当社グループは、システム業務支援のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の開示を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年12月31日)

当社グループは、システム業務支援のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の開示を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却費は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	90,025千円	64,842千円
のれん償却額	15,827	15,827
顧客関連資産償却費	37,500	37,500